

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-国際科目-専門基礎科目		
開講学科・専攻	知能機械工学科		
担当教官名	松村 隆		
居室	東4-423		

公開E-Mail	授業関連Webページ
matsu@mce.uec.ac.jp	

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>コンピュータは電気を入れただけでは、当然ながら何も仕事をしてくれません。コンピュータに対して「どんな仕事をさせるか」を決め、「どのような作業をするか」を指示しなければなりません。このような作業指示の集まりを「プログラム」と呼んでいます。従って、一般に市販されている「Office」関係や「ブラウザ」なども「プログラム」の一種であり、近年の多くの製品はプログラム言語の一つである「C言語」によって作成されています。また、皆さんが所属している知能機械工学科の研究室でも、機械制御や数値解析のために「プログラム」は不可欠です。この講義&amp;演習では、プログラミング言語の一つであるC言語を使ってプログラムを作るのに必要な基本的な命令、プログラミングスタイル、プログラム構造などについて学ぶことを目標とします。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
コンピュータリテラシー

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特になし

<b>【教科書等】</b>
<p>教科書の指定はありませんが、参考書として自分にあった「C言語」の解説書が何か一冊手元にあるとよいでしょう。</p> <p>例えば、</p> <p>C言語によるプログラミング -基礎編- 第2版          内田 智史 監修，株式会社システム計画研究所編，オーム社          改訂第4版 ANSI C対応 はじめてのC          椋田 實 著，技術評論社</p>

などです。

【授業内容とその進め方】

本講義&演習は情報処理センターの演習室で実施します。授業時間の前半は、前回課題の講評と次の課題に関連する内容の講義を行い、後半は各自が課題に取り組みます。

内容は以下の通りです。

1. プログラムの基本構造と書き方
2. プログラミングスタイル
3. 型の概念, 定数, 変数の定義
4. 演算子(算術演算子, 関係演算子, 論理演算子, sizeof演算子など)
5. 制御命令(if-else, switch-case, while, for, do-whileなど)
6. 関数
7. 配列
8. ファイル入出力

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

授業への出席, 課題の提出, 期末試験の結果を総合評価する。

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって最低達成基準とする。

(1)基本的に全ての授業に出席していること。ただし、ケガ、病気など止む得ない理由で欠席した場合には、出席扱いにするので申し出ること。

(2)全ての課題が受理されていること。

(3)C言語を使って初歩的なプログラムの作成ができること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、E-mailなどで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

機械制御や数値計算にプログラムは不可欠です。この講義&演習でプログラミングの基礎を学んでください。

【その他】